

男女共同参画社会の実現をめざして

介護と男女共同参画

男女がともに介護に向き合うには



今、日本では高齢化が急速に進み、介護の必要な高齢者が年々増加しています。平成25年4月現在、名寄市の65歳以上の高齢者は全人口の約28%を占めています。そして、介護現場は女性が主体となっているのが現状です。その状況を改善するには、なぜ介護に参加しない男性が多いのかを考え、その解決方法を探していく必要があるのではないのでしょうか。

男女がともに介護に向き合い協力していきける社会をつくるにはどうすればよいか考えていきましょう。



介護についての疑問や問題点

④ 介護する人は、なぜ女性が多いのでしょうか。

◎ フルタイムで仕事をしている男性が多く、介護する時間の余裕がない。

◎ 重労働のわりに賃金が安く、特に家庭を持つ男性に敬遠されやすい。

◎ 「介護は女性、仕事は男性がするべき」という固定的な性別役割分担意識がまだ残っている。

◎ 家事や育児経験のある女性は、男性に比べ介護活動に慣れるのが早い。

④ 介護は、女性主体ではいけないのでしょうか。

◎ 介護者（女性）への精神的・肉体的負担が増し、仕事と生活の調和（ワークライフ・バランス）が崩れたり、女性の社会進出の遅れにつながったりするおそれがある。

◎ 介護は女性の役割と決めず、性別を問わず個人が得意なことを生かした介護を行う方が効率的である。

④ 女性の介護者・男性の介護者それぞれの立場で、どのような問題点がありますか

《女性が介護者の場合》

◎ 女性が介護するのが当然といった雰囲気がある。

◎ 細かい気配りを要求され、精神的に負担がかかる。

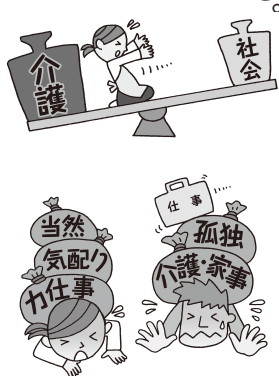
◎ 力仕事が多く、肉体的な負担が大きい。

《男性が介護者の場合》

◎ 仕事を抱えながらの介護は負担が大きく、仕事を辞めざるを得ないケースもある。

◎ 友人・知人に介護の悩みを相談できず、一人で悩みを抱え込んでいる。

◎ 介護に不慣れなため、介護の基本となる日常の家事に苦労している。



解決へのヒント

● 従来の考えを改める

これまでの「介護は女性、仕事は男性」という考えを、「介護は男女がともに協力して行うもの」と改めることが大切です。男女が協力し、今までに主に女性が担ってきた介護の負担を軽減することが、男女共同参画社会の実現に少しでも近づくことに繋がるのではないのでしょうか。



● 職場環境の整備

介護保険法や介護休業法など、法律の整備は進んでいますが、それが職場ではうまく活用されていないのが現実です。企業と職場が一体となって助け合い、仕事と介護を両立できるような職場環境をつくることが重要です。



● 行政・家族・地域との連携

介護のすべてを一人でこなすのは非常に大変です。行政の介護サービスを積極的に利用したり、家族や近所の方の助けを借りたりして、介護の負担を一人に集中させないようする必要があります。

そのためには、介護での悩みを一人で抱え込まず、まずは周りの人に相談しましょう。介護する人が声を上げることで、他の人々が問題意識を持ち、問題解決への第一歩を踏み出すこととなります。そうすれば、行政・家族・地域との連帯がスムーズに進み、介護を行う環境は整っていきやすいでしょう。

仕事と介護の両立

♥男女がともに助け合って介護できる社会へ♥

これまで介護に関しては、女性がその中心的な役割を担ってきた。最近では介護保険制度の導入や介護休業法の施行など、法制度が整備されたこともあり、介護に参加する男性が増えつつあります。しかし、その数はまだ十分とは言えません。多くの職場で介護休暇をとりづらい状況があるようです。整備された制度を介護者が積極的に活用していけるような職場の雰囲気作りが大切です。

また、固定的な性別役割分担の意識にとらわれず、男性がもっと積極的に介護へ参加しようという考えを持てば、女性中心の介護現場が少しずつ変わり、男女がともに介護を行える社会を築いてい

るのではないのでしょうか。しかし、介護する側とされる側の関係には色々なケースがあります。人によってその状況は千差万別で、一概にこういふ介護をすれば良いと言えるものではありません。その人の状況に合った最善の方法を選ぶことが大切です。

いつかは、自分が介護する立場になるかもしれません。そのためにも、介護について関心を持つことが大事です。男女がお互い協力し合い、個人の負担を軽減できれば、男女共同参画社会の実現に大きく近づいていくのではないのでしょうか。



▼問い合わせ

企画課男女共同参画担当

(市役所名寄庁舎3階)

☎01654③2111

(内線3305)

名寄市ホームページ

(<http://www.city.nayoro.lg.jp>)

芸術文化鑑賞バスツアーに参加しませんか

■第4回【上川町】

- ・と き 8月29日(木)
 - 9:00 名寄庁舎前出発
 - 17:00 名寄庁舎前到着予定
- (その他乗降場所/ハローワーク前・文化センター前・風連駅前)
- ・行き先
 - ①層雲峡・大雪写真ミュージアム
日本山岳写真界を代表する市根井孝悦氏がその一瞬を鮮やかに残した日本最大級の写真ギャラリー。
 - ②大雪 森のガーデン
今年7月7日、大雪山系NO.1の景観と称される大雪高原旭ヶ丘にプレオープンし、華やかな庭と過ごす森をテーマにした上川町ならではのガーデン。
- ・参加費 1,800円(入館料・昼食代・傷害保険料等を含む)
- ・申込期間 8月1日(木)~8月9日(金)
- ※定員33人
(最小催行人数15人、定員を超えた場合は抽選)

■第5回【札幌市】

- ・と き 9月18日(水)~19日(木)
 - 18日 9:30 名寄庁舎前出発
 - 19日 18:00 名寄庁舎前到着予定
- (その他乗降場所/ハローワーク前・文化センター前・風連駅前)
- ・行き先
 - ①劇団四季「美女と野獣」観劇
 - ②三岸好太郎美術館見学
特別展「生誕110年記念 三岸好太郎展」
 - ③北海道立近代美術館見学
特別展「星星會展—日本画の伝統と未来へ」
- ・宿泊先 ホテルルートイン札幌駅北口
- ・参加費 12,500円
(チケット代・入館料・1日目昼食代・宿泊費・傷害保険料等を含む)
- ・申込期間 8月12日(月)~8月21日(水)
- ※定員33人
(最小催行人数15人、定員を超えた場合は抽選)
- ※内容・費用などは変更になることがあります。

申し込み・問い合わせ 生涯学習課 (市民文化センター内) ☎01654②2218